

栗東市 移住・定住に関するアンケート調査

－ 目 次 －

1. 転出者向けアンケート	1
1-0 調査概要	1
1-1 回答者の属性	2
1-2 転居前のお住まい	4
1-3 転居先のお住まい	5
1-4 栗東市に住んでいた時のまちづくりについて	9
2. 転入者向けアンケート	10
2-0 調査概要	10
2-1 回答者の属性	11
2-2 転居前のお住まい	13
2-3 転居先のお住まい	15
2-4 現在の栗東市のまちづくりについて	19
3. 自由意見（主なご意見）	20
3-1 転出者向けアンケート	20
3-2 転入者向けアンケート	21

1. 転出者向けアンケート

1-0 調査概要

本市における移住・定住を推進していくための参考となるご意見をお聞きするために、本市から転出された方を対象としたアンケート調査を実施しました。

■調査概要

実施期間	令和5（2023）年 8月1日（火）～ 8月31日（木）
調査対象	栗東市から転出された方（5,357世帯） （期間：令和3年7月1日から令和5年6月30日）
調査方法	発送は郵送、回答は郵送及びweb回答
回収率	回収率：17.7%（950票／5,357票）

1-1 回答者の属性

問1-1 性別を教えてください

[データ解説]

- ・回答者の性別は、男性が44.5%、女性が55.1%と女性の割合が高くなっています。

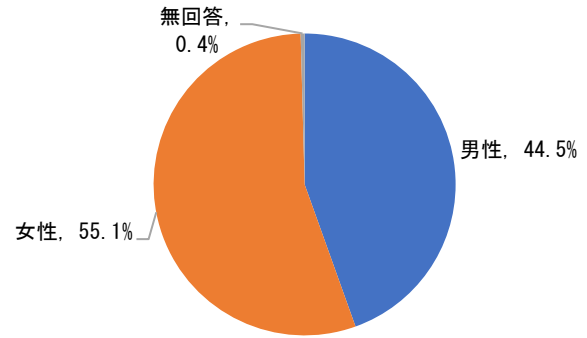


図1-1 回答者の性別 (問1-1)

N=950

問1-2 年齢を教えてください。

[データ解説]

- ・回答者の年齢は、30歳代が34.8%と最も高く、次いで20歳代が28.2%、40歳代が12.7%となっています。

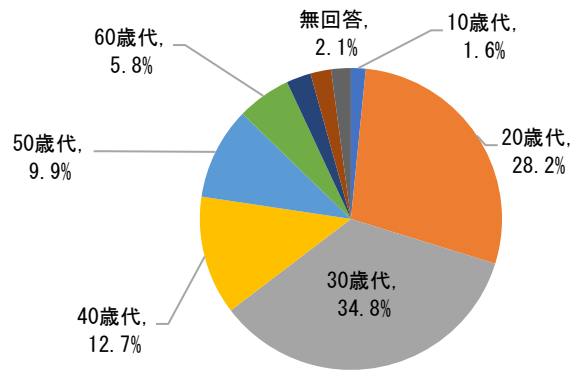


図1-2 回答者の年齢 (問1-2)

N=950

問2 現在のおつとめの状況を教えてください。

[データ解説]

- ・おつとめの状況は、会社員・公務員が64.1%と最も高く、次いで家事専業が10.6%、パート・アルバイトが10.3%となっています。

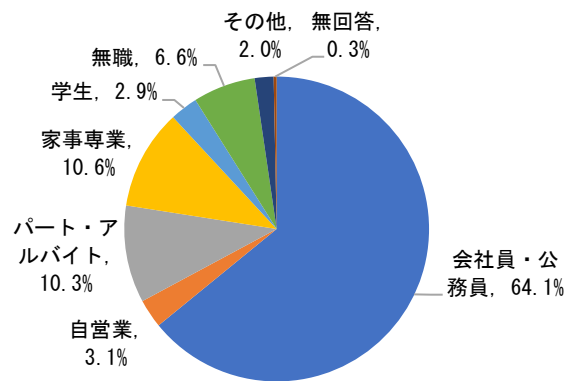


図1-3 おつとめの状況 (問2)

N=950

問3 現在の世帯構成を教えてください。

[データ解説]

- ・世帯構成は、「親子（二世帯）」が40.4%と最も高く、次いで「単身」が26.5%、「夫婦のみ」が25.8%となっています。

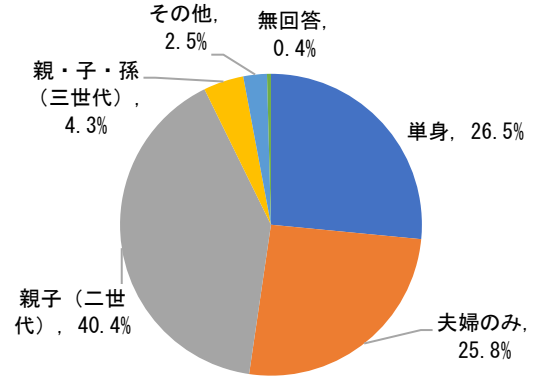


図1-4 回答者の世帯構成（問3）

N=950

問4 同居家族にお子さま（18歳未満）はいらっしゃいますか。

[データ解説]

- ・子ども（18歳未満）の有無は、「子どもがいない世帯」が62.7%、「子どもがいる世帯」が36.5%となっています。

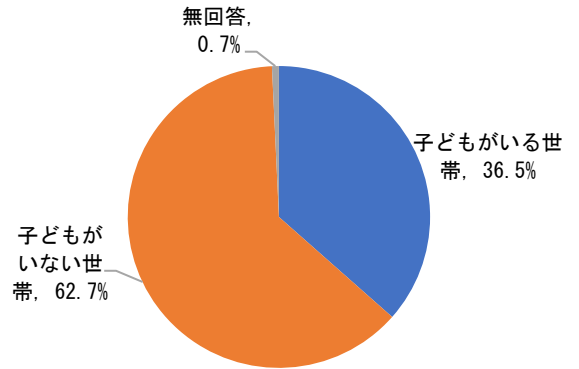


図1-5 子ども（18歳未満）の有無（問4）

N=950

問5 一番年下のお子さまの状況を教えてください。

[データ解説]

- ・子どもがいる世帯の一番年下のお子さまの状況は、「就学前」が80.5%と最も高く、次いで「小学生（公立）」が7.9%、「高校生（公立）」が2.0%となっています。

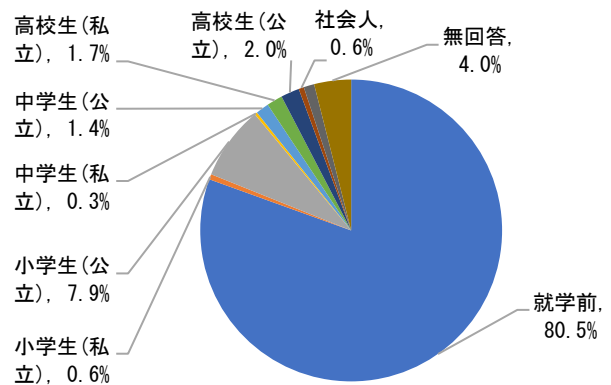


図1-6 一番年下のお子さまの状況（問5）

N=354

1-2 転居前のお住まい

問6 転居前の住所を教えてください。

●転居前の住所は、「治田地区」「大宝地区」が多い。

[データ解説]

- ・転居前の住所は、「治田地区」が40.4%と最も高く、次いで「大宝地区」が36.3%、「葉山地区」が16.7%、「金勝地区」が5.2%となっています。

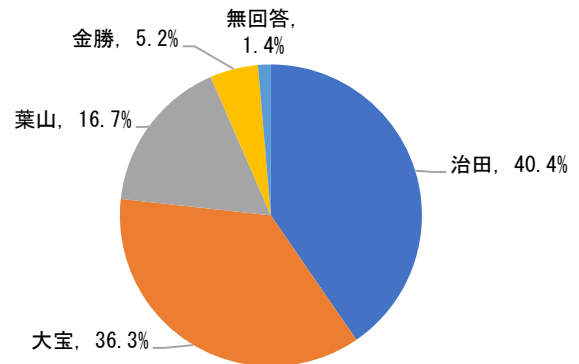


図1-7 転居前の住所（問6）

N=950

問7 転居前はどのようなタイプの住居にお住まいですか。

●転居前の住宅のタイプは、賃貸と持ち家（戸建て）が多い。

[データ解説]

- ・転居前の住宅のタイプは、「賃貸」が56.7%と最も高く、次いで「持ち家（戸建て）」が24.9%、「社宅・官舎・寮・下宿など」が9.7%となっています。

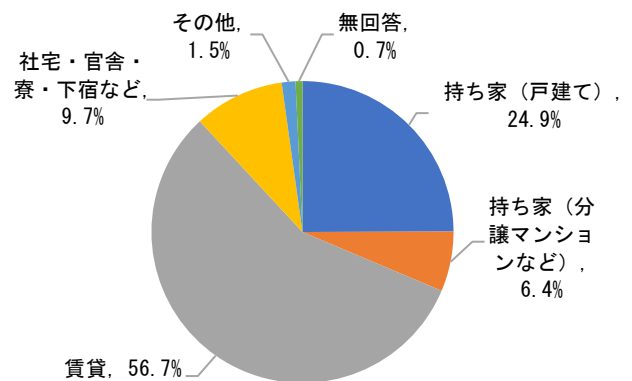


図1-8 転居前の住宅のタイプ（問7）

N=950

問8 転居前のお住まいの居住歴について教えてください。

●転居前の居住期間は、「0～4年」が多い。

[データ解説]

- ・転居前の居住期間は、「0～4年」が51.5%と最も高く、次いで「20年以上」が18.4%、「5～9年」が15.1%となっています。

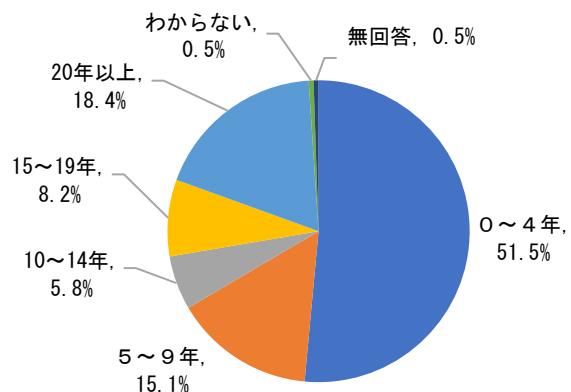


図1-9 転居前の居住期間（問8）

N=950

1-3 転居先のお住まい

問9 転居先の住所について教えてください。

● 転居先の住所は、栗東市の近隣自治体が多い。

[データ解説]

- ・ 転居先（都道府県）は、「滋賀県」が55.4%と最も高く、次いで「大阪府」が9.6%、「京都府」が6.7%となっています。
- ・ 転居先（市区町村）は、「草津市」が16.4%と最も高く、次いで「守山市」が12.3%、「大津市」が9.2%となっており、栗東市の隣接自治体が多くなっています。

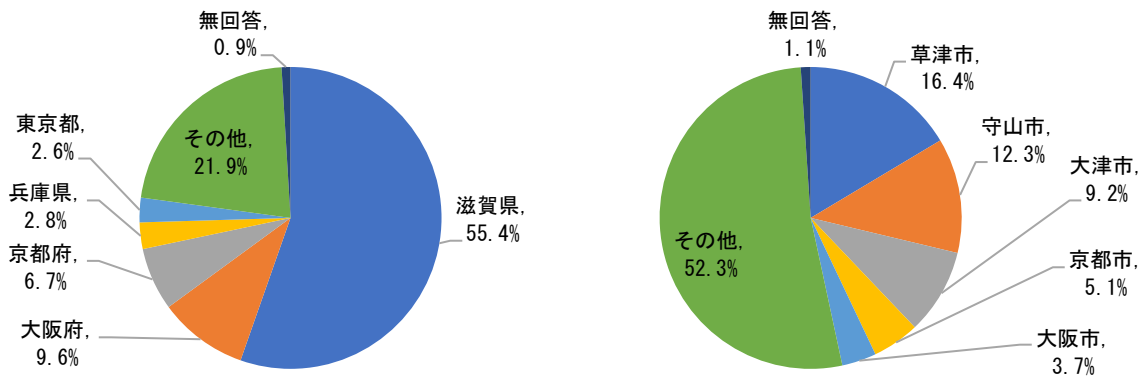


図 1-10 転居先の住所 (問9)

N=950

問10 転居先ではどのようなタイプの住居にお住まいですか。

● 転居先の住宅のタイプは、賃貸と持ち家（戸建て）が多い。

[データ解説]

- ・ お住まいの住宅のタイプは、「賃貸」が42.1%と最も高く、次いで「持ち家（戸建て）」が38.7%、「社宅・官舎・寮・下宿など」が8.2%となっています。

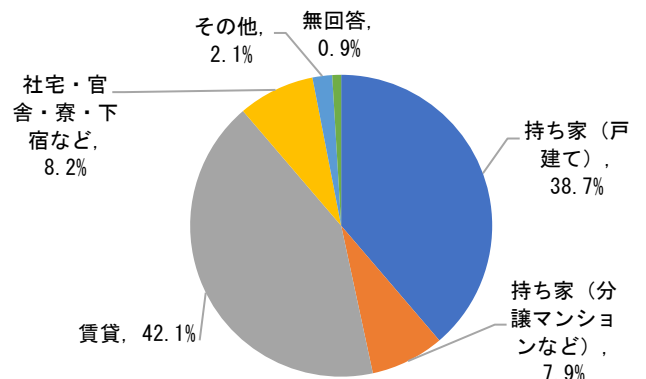


図 1-11 転居先の住宅のタイプ (問10)

N=950

問11 転居されたきっかけは何ですか。(複数回答)

●転居のきっかけは、「就職・転職・転勤」「住宅の購入」が多い。

[データ解説]

・転居されたきっかけは、「就職・転職・転勤」が 33.2%と最も高く、次いで「住宅の購入」が 29.0%、「結婚」が 13.0%となっています。

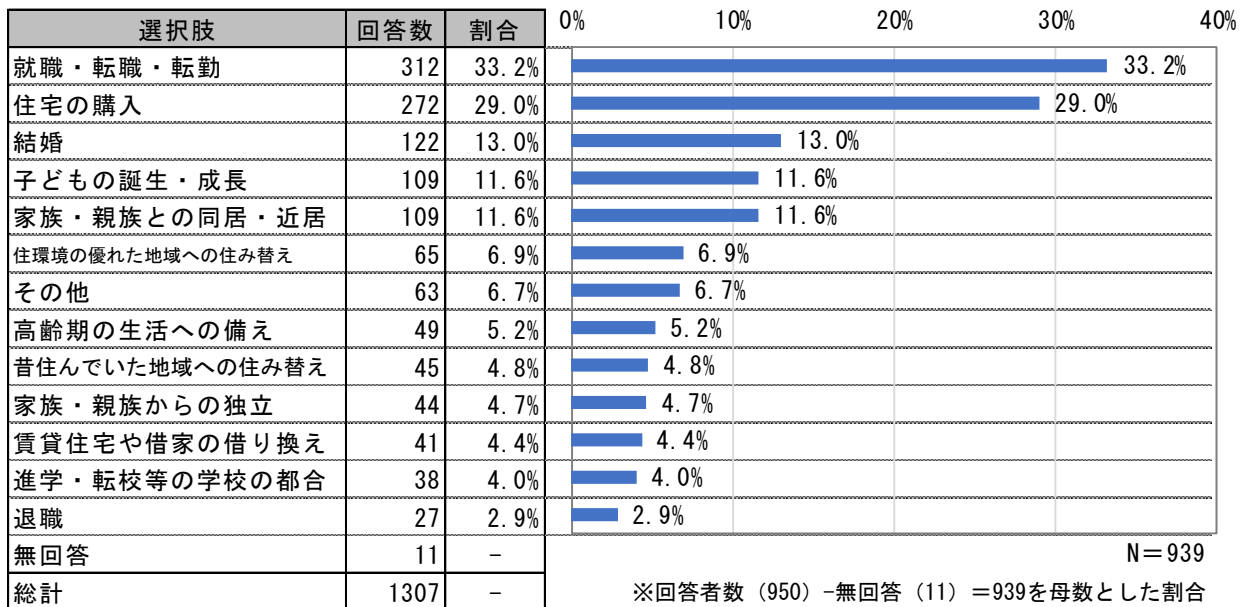


図 1-12 転居されたきっかけ (問 11)

問12 転居先を検討する際、他のところと比較検討されましたか。

●転居先は、市外も含めて検討されるケースが多い。

[データ解説]

・転居先の比較検討は、「検討しなかった」が 61.3%と最も高く、次いで「栗東市外」が 19.3%、「栗東市内外両方」が 15.4%となっています。

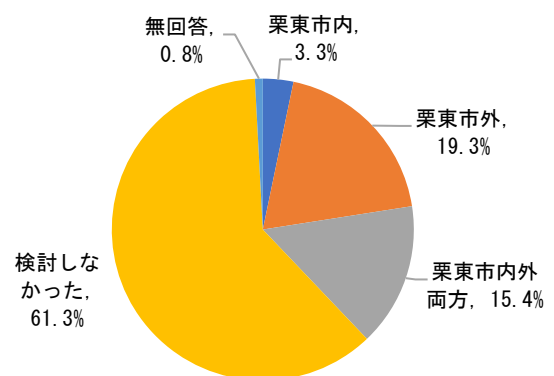


図 1-13 転居先の比較検討 (問 12)

N=950

問 13 比較検討された市内の大字名を教えてください。(複数回答)

● 転居先の市内の候補地は、駅周辺の市街地エリアが多い。

[データ解説]

・転居先の市内の候補地は、「治田地区」が72.2%と最も高く、次いで「大宝地区」が52.3%となっており、栗東駅・手原駅周辺の市街地エリアが候補となるケースが多くなっています。

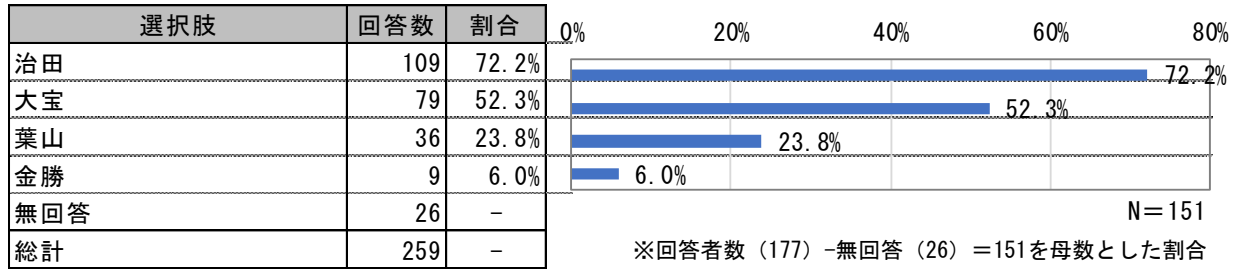


図 1-14 比較検討された市内の地区 (問 13)

問 14 比較検討された市外の住所について教えてください。(複数回答)

● 転居先の市外の候補地は、栗東市の近隣自治体が多い。

[データ解説]

・転居先の市外の候補地は、滋賀県内が多く、「草津市(52.8%)」「守山市(40.5%)」「大津市(25.6%)」といった栗東市の近隣自治体が候補となるケースが多くなっています。

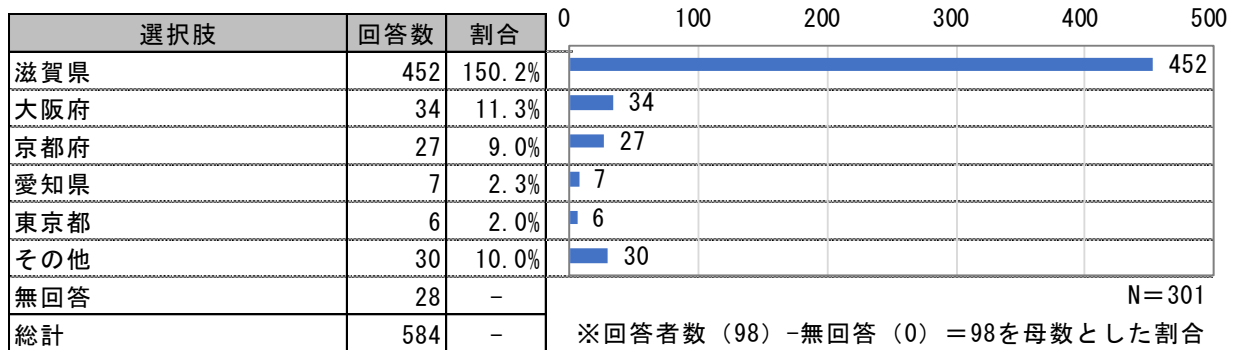


図 1-15 比較検討された市外の都道府県名 (問 14)

※滋賀県の回答数の割合が100%を超過したため、本グラフは実数で表示。

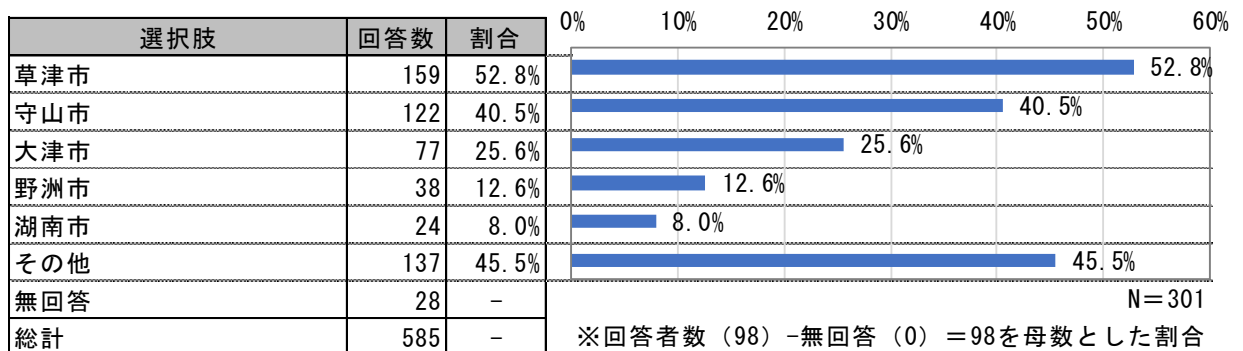


図 1-16 比較検討された市外の市区町村名 (問 14)

問 15 転居先を選ぶ際に重視したポイントについて教えてください。(複数回答)

●転居先を選ぶ際は、住宅の価格面や広さ、日常生活の利便性が重視されている。

[データ解説]

・転居先を選ぶ際に重視したポイントは、「住宅価格や家賃が適当 (45.0%)」「通勤や通学に便利 (30.4%)」「公共交通の便がいい (29.4%)」「買い物など日常生活が便利 (29.3%)」「住宅の広さが適当 (24.4%)」といった項目が高い割合となっており、転居先を選ぶ際は、住宅の価格面や広さ、日常生活の利便性が重視されていることが伺えます。

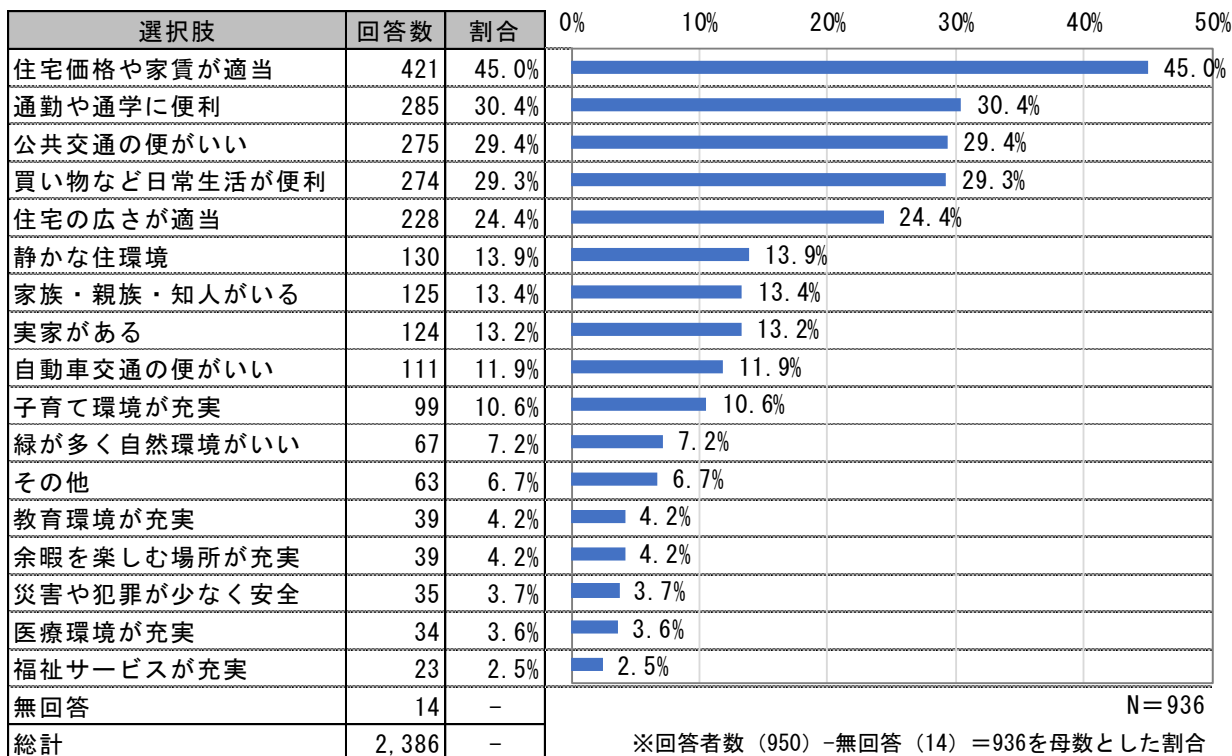


図 1-17 転居先を選ぶ際に重視したポイント (問 15)

問 16 今後、栗東市に再び戻ってくるご予定はありますか。

●回答者の約半数は、栗東市に再び戻ってくる予定がないと回答。

[データ解説]

・栗東市に再び戻ってくる予定は、「ない」が 49.2%と最も高く、次いで「わからない」が 43.1%、「ある」が 7.2%となっており、回答者の約半数は、栗東市に再び戻ってくる予定がないと回答しています。

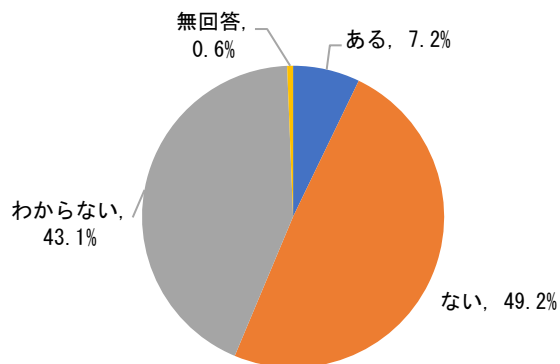


図 1-18 栗東市に再び戻ってくる予定 (問 16)
N=950

1-4 栗東市に住んでいた時のまちづくりについて

問 17 以前栗東市に住んでいた時のまちづくりの満足度・重要度について
どう思いますか

● 「公共交通の利便性」「子育て環境や子育て支援」「学校教育環境や就学支援」が今後のまちづくりの優先課題と考えられる。

[データ解説]

・最優先で改善すべき（満足度が低く、重要度が高い）項目には、「公共交通の利便性」「子育て環境や子育て支援」「学校教育環境や就学支援」が該当しており、今後のまちづくりの優先課題と考えられます。

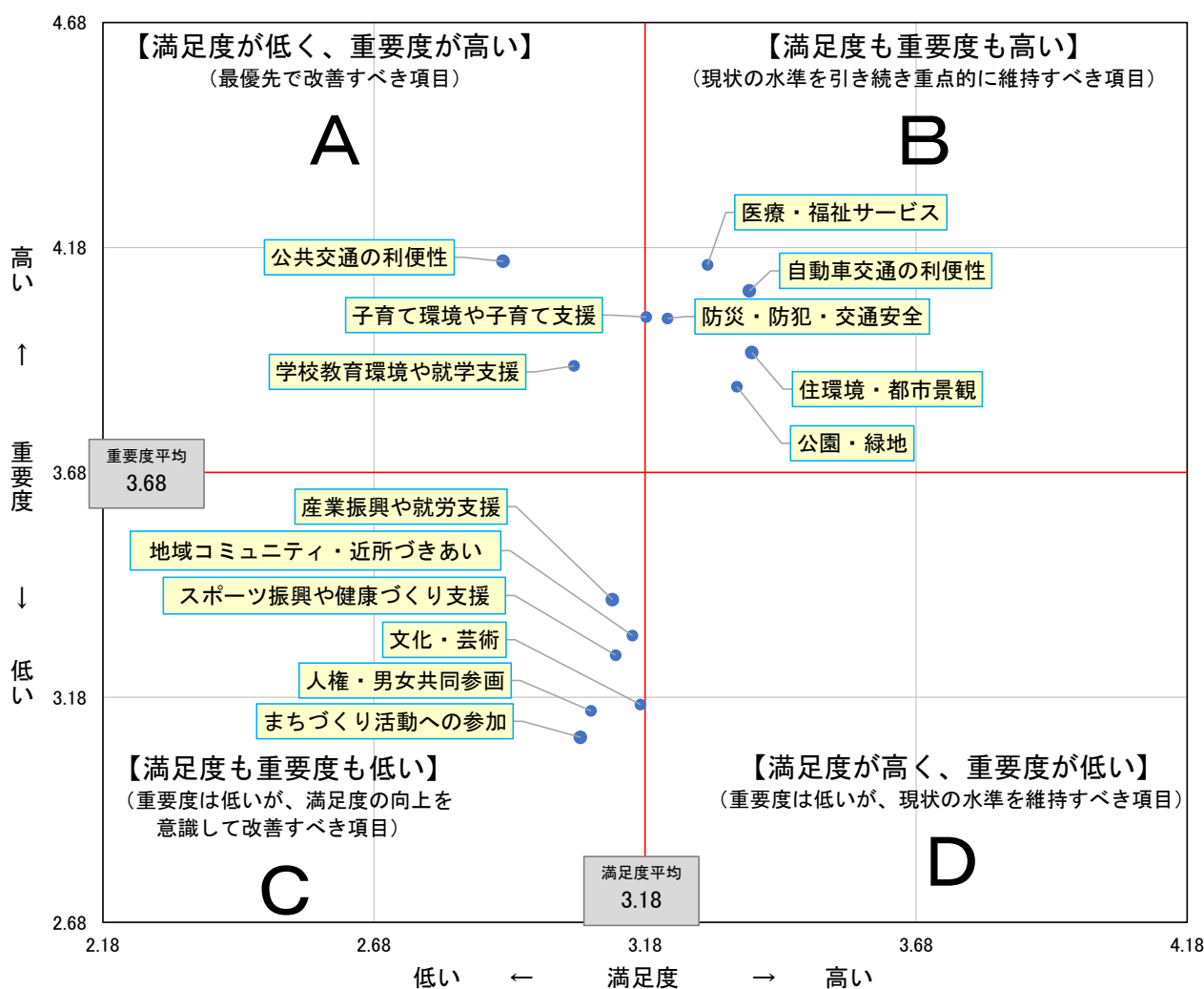


図 1-19 栗東市に住んでいた時のまちづくりの満足度・重要度（問 17）

2. 転入者向けアンケート

2-0 調査概要

本市における移住・定住を推進していくための参考となるご意見をお聞きするために、本市に転入された方を対象としたアンケート調査を実施しました。

■調査概要

実施期間	令和5（2023）年 8月1日（火）～ 8月31日（木）
調査対象	栗東市に転入された方（4,966世帯） （期間：令和3年7月1日から令和5年6月30日）
調査方法	発送は郵送、回答は郵送及びweb回答
回収率	回収率：20.2%（1,003票／4,966票）

2-1 回答者の属性

問1-1 性別を教えてください。

[データ解説]

- 回答者の性別は、男性が44.6%、女性が54.7%と女性の割合が高くなっています。

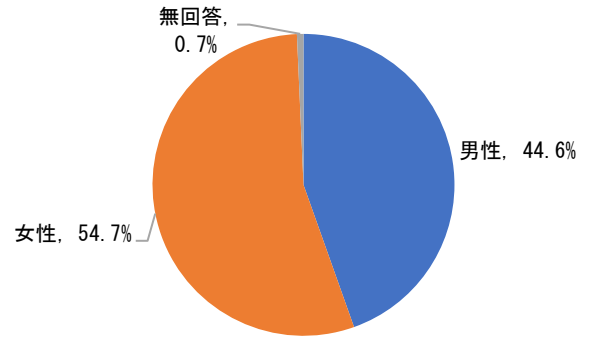


図2-1 回答者の性別（問1-1）

N=1,003

問1-2 年齢を教えてください。

[データ解説]

- 回答者の年齢は、20歳代が33.6%と最も高く、次いで30歳代が32.0%、40歳代が13.2%となっています。

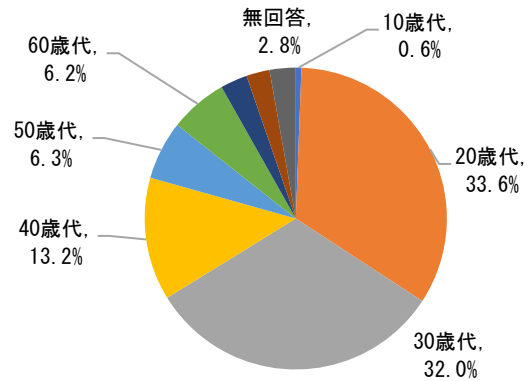


図2-2 回答者の年齢（問1-2）

N=1,003

問2 現在のおつとめの状況を教えてください。

[データ解説]

- おつとめの状況は、会社員・公務員が63.5%と最も高く、次いで家事専業が11.2%、パート・アルバイトが10.7%となっています。

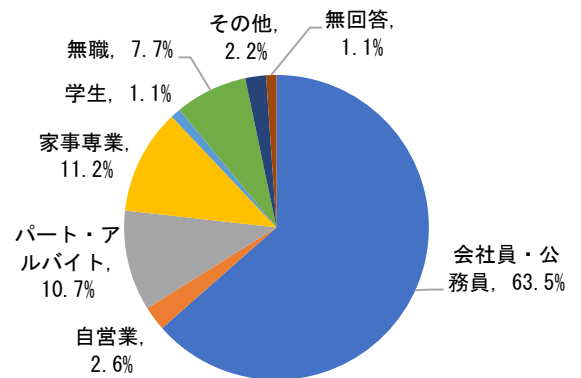


図2-3 おつとめの状況（問2）

N=1,003

問3 現在の世帯構成を教えてください。

[データ解説]

- ・世帯構成は、「夫婦のみ」が39.9%と最も高く、次いで「親子(二世帯)」が37.9%、「単身」が15.1%となっています。

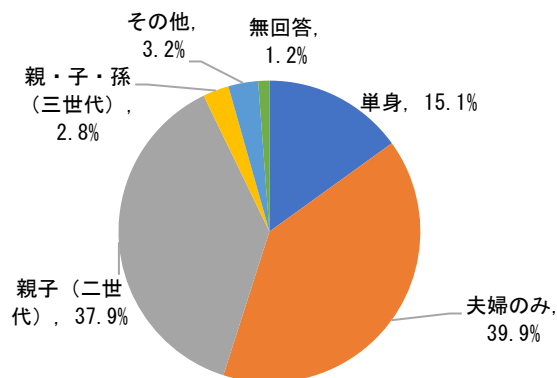


図2-4 回答者の世帯構成(問3)

N=1,003

問4 同居家族にお子さま(18歳未満)はいらっしゃいますか。

[データ解説]

- ・子ども(18歳未満)の有無は、「子どもがいない世帯」が65.8%、「子どもがいる世帯」が32.5%となっています。

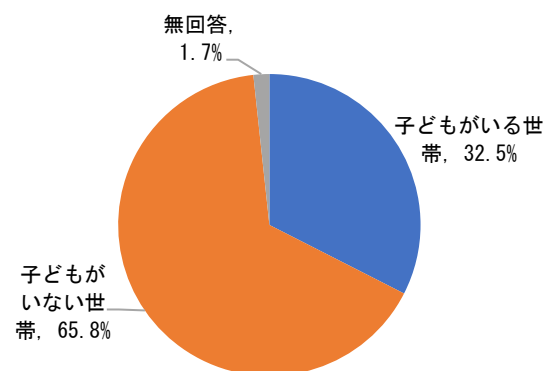


図2-5 子ども(18歳未満)の有無(問4)

N=1,003

問5 一番年下のお子さまの状況を教えてください。

[データ解説]

- ・子どもがいる世帯の一番年下のお子さまの状況は、「就学前」が74.3%と最も高く、次いで「小学生(公立)」が12.2%、「高校生(公立)」が3.8%となっています。

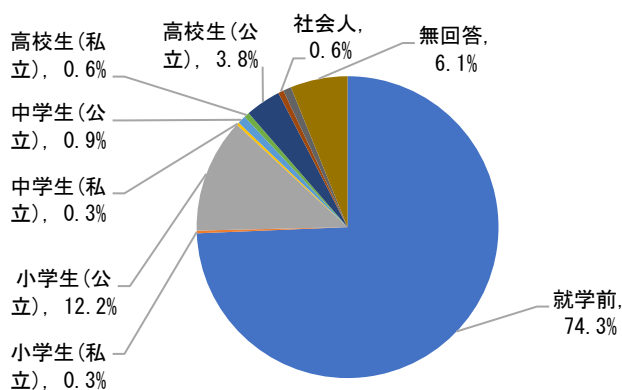


図2-6 一番年下のお子さまの状況(問5)

N=343

2-2 転居前のお住まい

問6 転居前の住所を教えてください。

●転居前の住所は、栗東市の近隣自治体が多い。

[データ解説]

- ・転居前（都道府県）は、「滋賀県」が55.0%と最も高く、次いで「京都府」が9.9%、「大阪府」が7.1%となっています。
- ・転居前（市区町村）は、「草津市」が13.7%と最も高く、次いで「大津市」が10.1%、「守山市」が7.7%となっており、栗東市の隣接自治体が多くなっています。

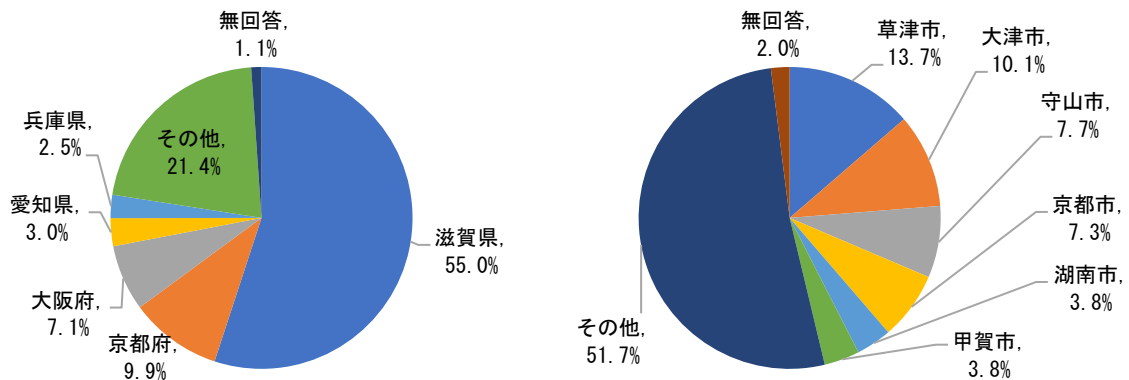


図 2-7 転居前の住所 (問 6)

N=1,003

問7 転居前はどのようなタイプの住居にお住まいですか。

●転居前の住宅のタイプは、賃貸と持ち家（戸建て）が多い。

[データ解説]

- ・転居前の住宅のタイプは、「賃貸」が53.6%と最も高く、次いで「持ち家（戸建て）」が27.1%、「社宅・官舎・寮・下宿など」が11.7%となっています。

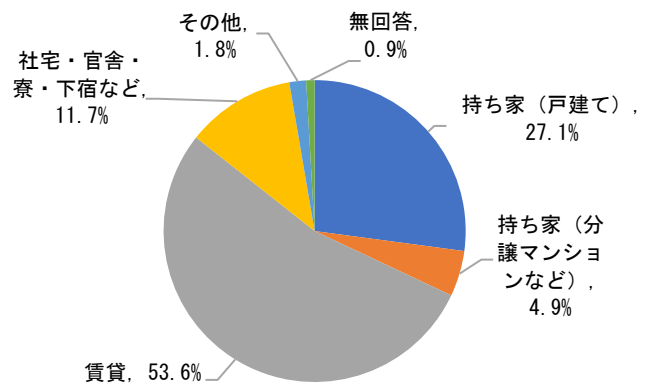


図 2-8 転居前の住宅のタイプ (問 7)

N=1,003

問8 転居前のお住まいの居住歴について教えてください。

●転居前の居住期間は、「0～4年」が多い。

[データ解説]

- ・転居前の居住期間は、「0～4年」が50.5%と最も高く、次いで「20年以上」が22.7%、「5～9年」が13.1%となっています。

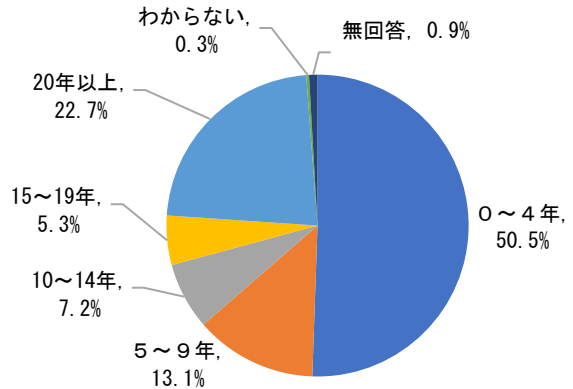


図 2-9 転居前の居住期間 (問 8)

N=1,003

問9 転居前のお住まいの周辺環境について教えてください。

●転居前の周辺環境は、「中心部周辺の郊外部」が多い。

[データ解説]

- ・転居前のお住まいの周辺環境は、「中心部周辺の郊外部」が55.4%と最も高く、次いで「まちの中心部」が32.7%、「自然豊かな農山漁村」が10.9%となっています。

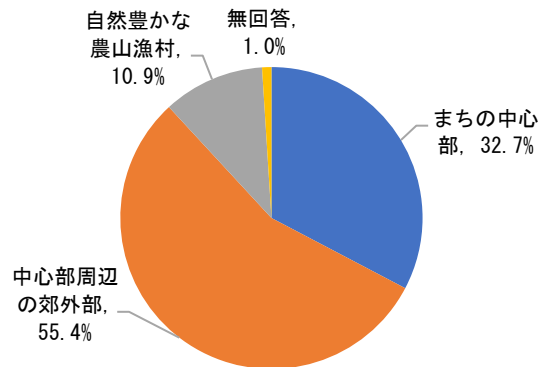


図 2-10 転居前のお住まいの周辺環境 (問 9)

N=1,003

2-3 転居先のお住まい

問 10 転居先の住所について教えてください。

● 転居先の住所は、「大宝地区」「治田地区」が多い。

[データ解説]

・転居先の住所は、「大宝地区」が 40.0%と最も高く、次いで「治田地区」が 39.4%、「葉山地区」が 15.0%、「金勝地区」が 3.5%となっています。

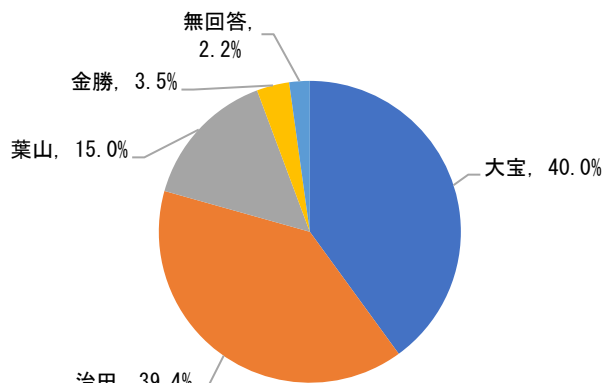


図 2-11 転居先の住所（問 10）

N=1,003

問 11 転居先ではどのようなタイプの住居にお住まいですか。

● 転居先の住宅のタイプは、賃貸と持ち家（戸建て）が多い。

[データ解説]

・お住まいの住宅のタイプは、「賃貸」が 56.2%と最も高く、次いで「持ち家（戸建て）」が 27.7%、「社宅・官舎・寮・下宿など」が 6.9%となっています。

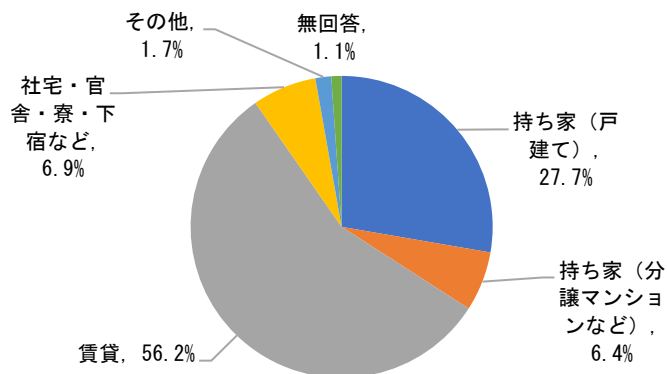


図 2-12 転居先の住宅のタイプ（問 11）

N=1,003

問 12 転居されたきっかけは何ですか。(複数回答)

●転居のきっかけは、「就職・転職・転勤」「結婚」が多い。

[データ解説]

・転居されたきっかけは、「就職・転職・転勤」が 31.4%と最も高く、次いで「結婚」が 28.9%、「住宅の購入」が 17.4%となっています。

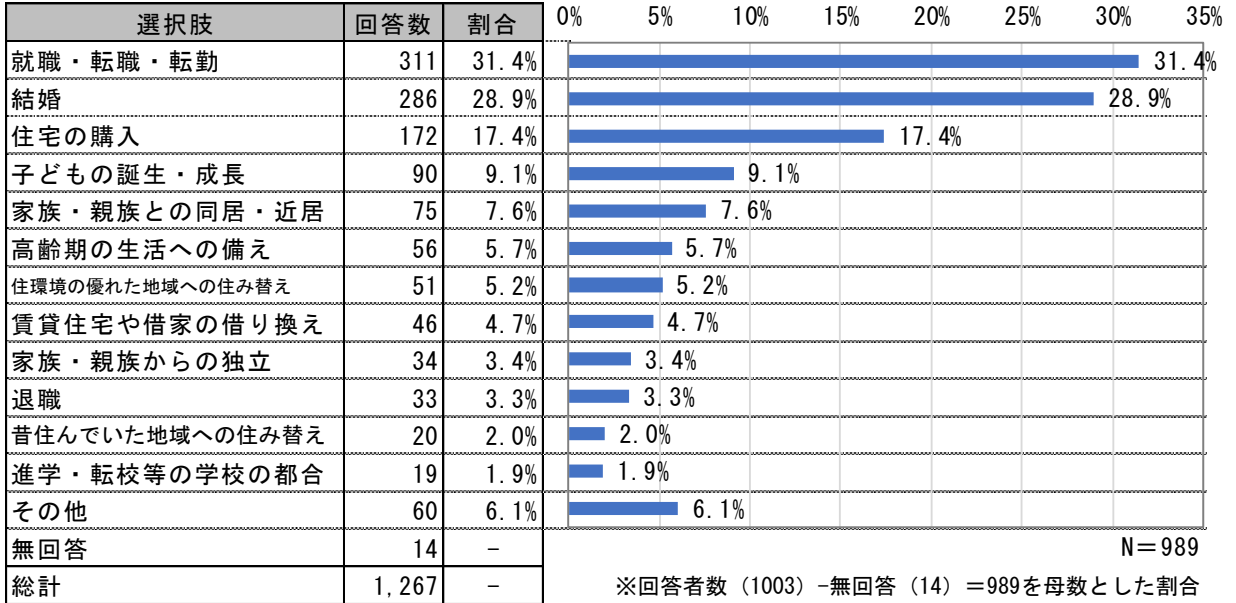


図 2-13 転居されたきっかけ (問 12)

問 13 転居先を検討する際、他のところと比較検討されましたか。

●転居先は、市外も含めて検討されるケースが多い。

[データ解説]

・転居先の比較検討は、「栗東市外」が 36.8%と最も高く、次いで「検討しなかった」が 30.7%、「栗東市内外両方」が 23.6%となっており、市外も含めて検討されるケースが多くなっています。

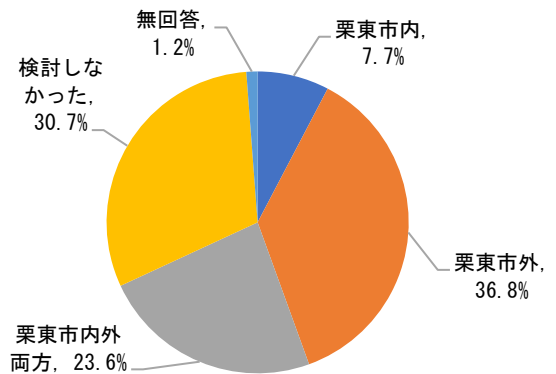


図 2-14 転居先の比較検討 (問 13)

N=1,003

問 14 比較検討された市内の大字名を教えてください。(複数回答)

● 転居先の市内の候補地は、駅周辺の市街地エリアが多い。

[データ解説]

・転居先の市内の候補地は、「大宝地区」が58.5%と最も高く、次いで「治田地区」が57.1%となっており、栗東駅・手原駅周辺の市街地エリアが候補となるケースが多くなっています。

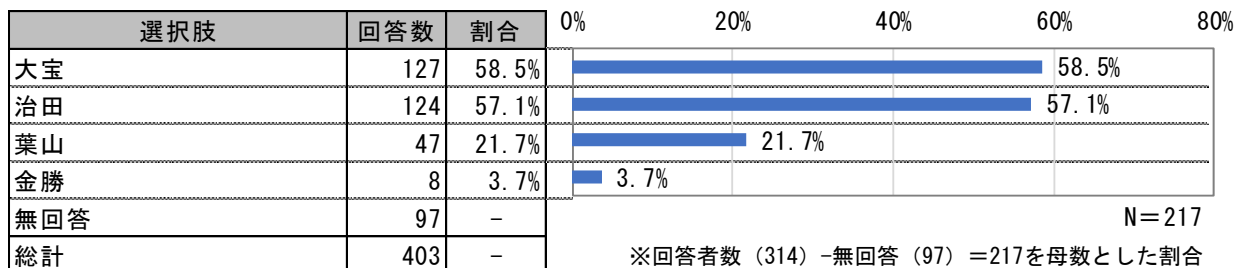


図 2-15 比較検討された市内の地区 (問 14)

問 15 比較検討された市外の住所について教えてください。(複数回答)

● 転居先の市外の候補地は、栗東市の近隣自治体が多い。

[データ解説]

・転居先の市外の候補地は、滋賀県内が多く、「草津市(75.7%)」「守山市(47.9%)」「大津市(21.9%)」といった栗東市の近隣自治体が候補となるケースが多くなっています。

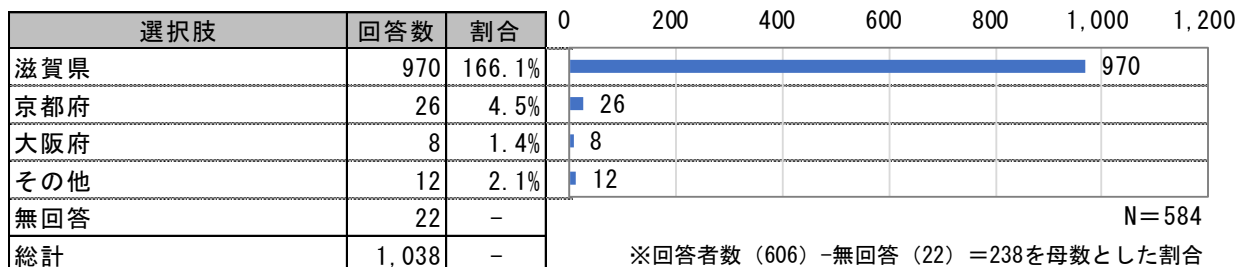


図 2-16 比較検討された市外の都道府県名 (問 15)

※滋賀県の回答数の割合が100%を超過したため、本グラフは実数で表示。

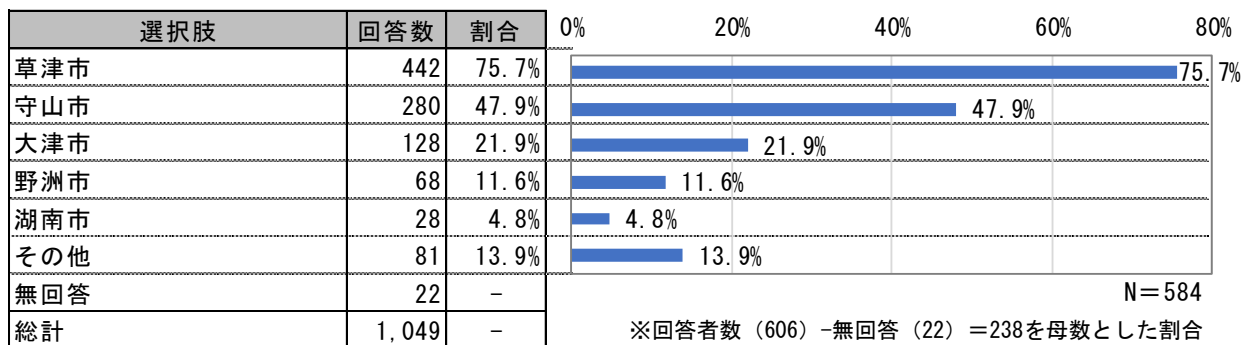


図 2-17 比較検討された市外の市区町村名 (問 15)

問 16 転居先を選ぶ際に重視したポイントについて教えてください。(複数回答)

●転居先を選ぶ際は、住宅の価格面や広さ、日常生活の利便性が重視されている。

[データ解説]

・転居先を選ぶ際に重視したポイントは、「住宅価格や家賃が適当 (56.1%)」「住宅の広さが適当 (33.7%)」「公共交通の便がいい (32.0%)」「買い物など日常生活が便利 (29.2%)」「通勤や通学に便利 (29.0%)」といった項目が高い割合となっており、転居先を選ぶ際は、住宅の価格面や広さ、日常生活の利便性が重視されていることが伺えます。

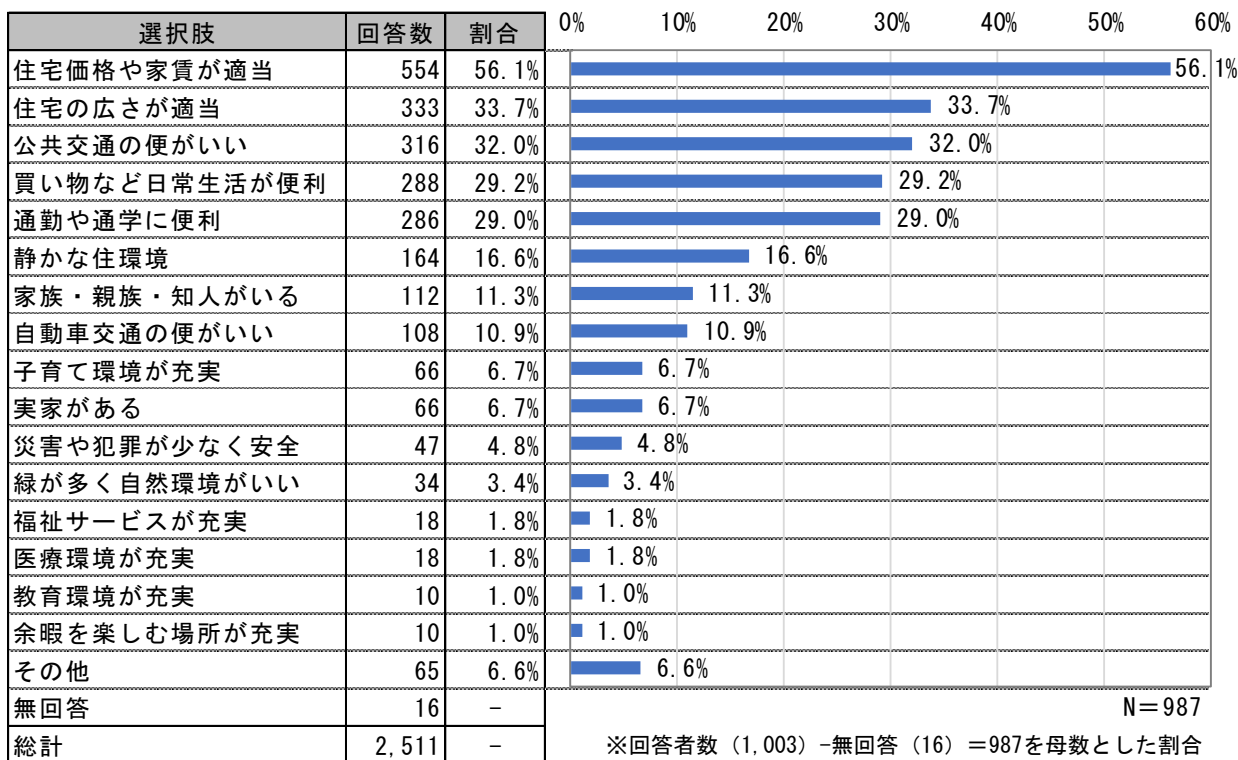


図 2-18 転居先を選ぶ際に重視したポイント (問 16)

2-4 現在の栗東市のまちづくりについて

問17 現在の栗東市のまちづくりの満足度・重要度についてどう思いますか。

● 「公共交通の利便性」「子育て環境や子育て支援」「学校教育環境や就学支援」が今後のまちづくりの優先課題と考えられる。

[データ解説]

・最優先で改善すべき（満足度が低く、重要度が高い）項目には、「公共交通の利便性」「子育て環境や子育て支援」「学校教育環境や就学支援」が該当しており、今後のまちづくりの優先課題と考えられます。

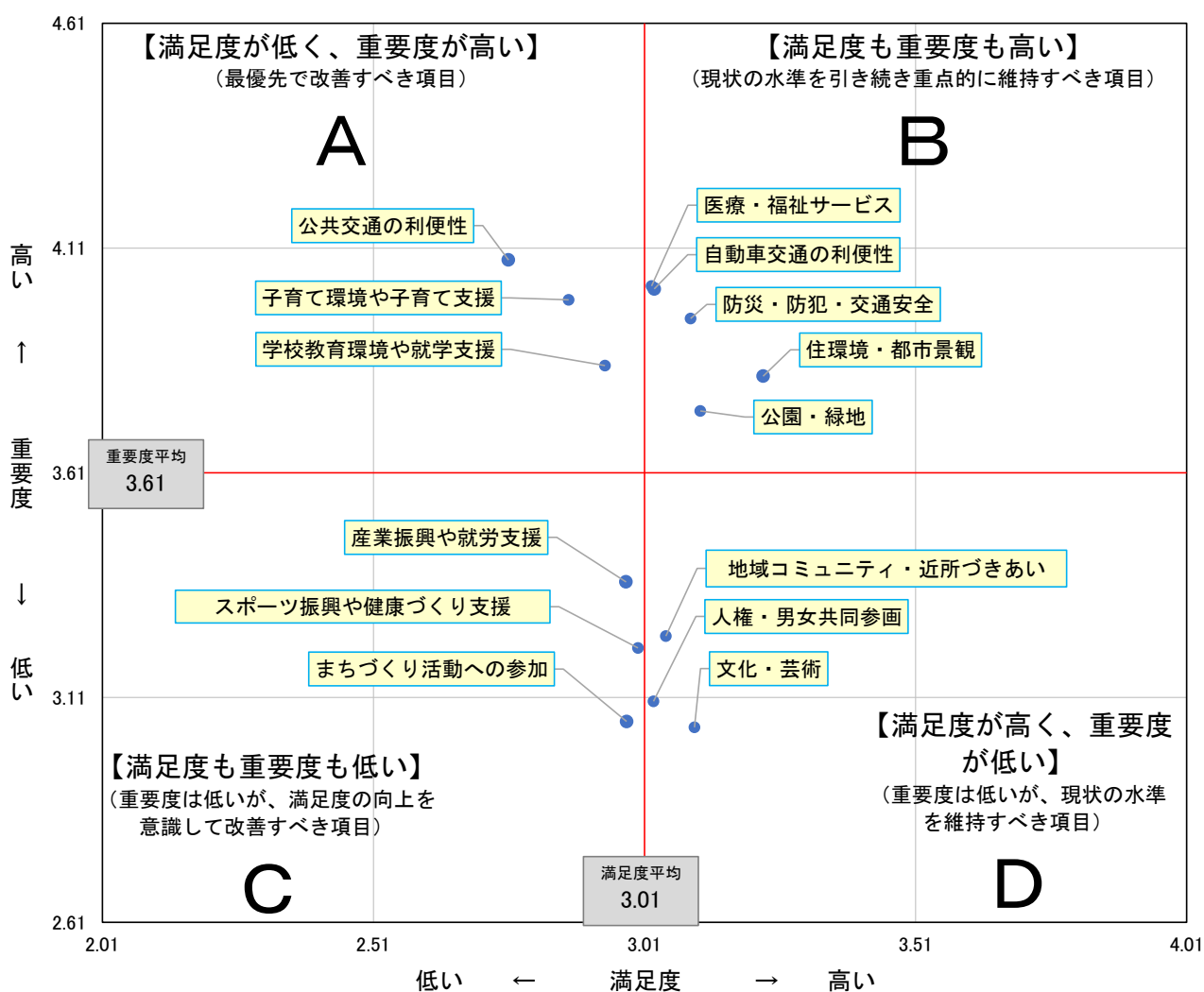


図 2-19 栗東市に住んでいた時のまちづくりの満足度・重要度 (問17)

3. 自由意見（主なご意見）

（栗東市の施策や住居環境の良かった点、栗東市をより良くしていくためのご提案など）

3-1 転出者向けアンケート

項目	主なご意見
地方に仕事をつくる	・住宅環境としては良い環境にあると思うが、仕事は大阪・京都ほど充実していない。
人の流れをつくる	・元競走馬と触れ合える(乗馬や餌やりなど)施設を作って欲しい(JRAと提携した馬を体験できる施設など)。 ・観光協会のような場所(観光案内所、特産品・グッズ販売する店など)を作ると良い。 ・単身用住居の選択肢が少ない。 ・土地を購入するときの立地的な選択肢が少なく、栗東駅周辺にかたよっている。
結婚・出産・子育ての希望をかなえる	・子育て支援の充実(若い世帯への家賃補助や子供世代の医療費、学校給食などの無料化、出生児への給付金や子育て応援ヘルパー派遣券の配布など)。 ・幼稚園や小学校の完全給食化。 ・保育園、幼稚園を増やしてほしい(待機児童問題)。 ・児童館の数が多く、活動も充実しておりとても良い。 ・乳幼児の医療費無料はありがたかった。 ・大きくて魅力的な公園が少ない。
魅力的な地域をつくる	・大きくて魅力的な公園が少ない。【再掲】 ・JR草津線の本数やバスの本数が少なすぎて公共交通機関での移動が不便。新快速が停まるようになってほしい。 ・交通渋滞が頻発していて不便。 ・駅前などの歩道空間のバリアフリー化。 ・図書館をもっと充実させてほしい(蔵書や学習スペースなど)。 ・まちの美化活動(街路樹を含め草木の伐採や剪定、雑草対策)。 ・駅前などの街灯が少ない。
馬の活用	・元競走馬と触れ合える(乗馬や餌やりなど)施設を作って欲しい(JRAと提携した馬を体験できる施設など)。【再掲】
デジタルの活用	・行政関係の手続きをもっと電子化してほしい。
その他	・周辺自治体と比較してゴミ袋が割高。

3-2 転入者向けアンケート

項目	主なご意見
人の流れをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設の充実化。 ・観光地が少ない。 ・馬の街栗東のアピール強化。
結婚・出産 ・子育ての 希望をかな える	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣自治体と比較して、保育園が全く足りていない。 ・子供の一時預かりが可能な施設が少ない（予約でいっぱい）。 ・大型公園など、子どもの遊びスポットがもう少し欲しい。 ・経済的な子育て支援の充実（医療費の完全無償化、オムツ券の増額など）。 ・不妊治療に対する取組の充実。 ・ファミサポ制度の導入。 ・児童館が多く、とても良い。 ・図書館や市役所を綺麗にしたり、市営の大きな公園の整備、道路整備等、子育て支援や住みやすさにもっとお金をかけてほしい。 ・市のホームページが他市と比べてとても見づらい（子育て支援など）。
魅力的な地 域をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの本数や運行路線を増やしてほしい。 ・くりちゃんバスを土日も走らせて欲しい。 ・バスの交通系IC対応。 ・渋滞対策。 ・新快速の停車。 ・図書館や市役所を綺麗にしたり、市営の大きな公園の整備、道路整備等、子育て支援や住みやすさにもっとお金をかけてほしい。【再掲】 ・夜道が暗い。街灯が無いところもある。 ・まちの美化、景観の向上。 ・老人施設や健康づくりの支援が少ない。
馬の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・馬の街栗東のアピール強化。【再掲】
デジタルの 活用	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページが他市と比べてとても見づらい（子育て支援など）。【再掲】 ・行政手続きのデジタル化・ワンストップ化が遅れている（引越時や子育て支援など）。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ袋の価格が高い。 ・ゴミの分別が厳しい。 ・ムクドリ対策。